

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	ごみ減量化・リサイクル推進事業			
■評価事業コード	030300 - 008	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	02 ごみの発生抑制		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市ごみ処理基本計画			
■事業の目的と概要	ごみの減量化及びリサイクルの推進。出前講座等の市民からの要請に応じ、ごみ減量化・リサイクル意識啓発活動を実施。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	ごみ減量化・リサイクル推進事業			出前講座8回

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	94	103	57	55	
人件費	3,996	1,882	3,406	1,810	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,090	1,985	3,463	1,865	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	家庭系ごみ量	16,519t	16,146t	17,149t	16,913t	家庭から排出されるごみ量
02	出前講座回数	13回	7回	7回	8回	ごみ袋手数料化時にごみの分別、出し方の説明会を実施しており、今年度も回数は減少している。
03	リサイクル率	0.247	0.235	0.235	0.227	再資源化の率

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

基準年度(H20年)に比して11%減となっているが、東日本大震災以降ごみ量が増えている。資源ごみ量が減少しているが、可燃ごみに含まれているケースが見られる。

問題点・課題等

出前講座は、市民から申し込みがあった場合に実施している。啓発のために自発的に地域に入っていく、講座を実施していく必要がある。資源ごみが可燃ごみに含まれているので分別の周知を図る。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

ごみの分別やリサイクルの推進を図るためには継続的に市民へのアピールが必要である。